

気づき つなぎ 見守り



安中地域自殺予防対策
連絡会議委員
齊藤 智好
(西横野地区民生委員
児童委員協議会会長)

安中地域自殺予防対策連絡会議

— 第 7 回 —

広げよう地域に根ざした思いやり

私は、会社人間で地域のことや家庭のことは、すべて妻任せで長い間過ごしてきました。

退職を迎えるに際して今後どのように過ごしたらよいか、考えておりましたときに民生委員の先輩から、後任をとの話があり、お受けしてから6年目に入っております。

実は、会社勤めをしているときに、忘れられない悲しいことに出会っています。

私が初めて、一つの職場を持たされたときのことですが、スタッフの中に仕事も真面目で、研修グループのリーダーをしていた社員が、ある日、突然に神様から頂いた尊い命を自分から

閉じてしまったのです。ご遺族の方にお会いしたときの悲しみは、言葉で表現できるものではありません。ご本人のそのお姿に接したときは、言葉を発することもできませんでした。

私は、数日前に会って話をしたときに何も感じることもできなかつた。なぜと思ったときに身体に電流が走りまわりました。今、思えば自分が心の扉を開いていなかったと思っております。

民生委員になつてからは、研修を重ね、更に安中市主催の講演「自殺したらあかん！」・社会福祉協議会主催の「傾聴とは？」の講演も受けることができました。講演された先生の相手に真正面から向い、限らない愛情を持った熱意を感じ心を動かされました。

私たちに何ができるのかと考えるとき、自分たちには何か持っていないもの、それは、「地域の中で同じ景色を見て、同じ空気を吸っている。ほんの少しの変化も身体に感じることもできる。一番身近にいる。」という宝

物を持っていることだと考えます。

この環境を大切にして、私たちは「広げよう地域に根ざした思いやり」を行動理念として活動を行うことだと思っております。

地域の中の多くの人々と会話を交わし、道端で会ったときの「声運動」にも、より力を入れた活動をしていきたいと思えます。

先日、「ゲートキーパー養成研修」も受講し、教えられた「こころのSOSに気づいたら」を委員全員で実践していきます。

私は、子どもの頃に良く耳にした「向う三軒両隣」という言葉が好きです。地域の中にこの心が消えない限り、安心した地域は守れるものと信じております。その心の一端でも担えるよう郷土をこよなく愛する心を持った、民生委員になりたいと思っております。

問合せ▼
困福祉課障害福祉係
(☎内線1154)



安中市地域防災計画を策定しました

市では、平成20年3月に安中市防災会議により安中市地域防災計画を策定しましたが、平成23年3月に発生した東日本大震災や今後予想される大規模災害の発生などを考慮し、国の防災計画、県の地域防災計画の見直しに合わせ、平成25年3月に新たな安中市地域防災計画を策定しました。

当計画では、市・防災関係機関・市民などがその全機能を発揮し、密接に連携し合い、市内における風水害、地震、火山災害、事故災害および火災などに対する予防や応急対策、復旧・復興対策を効率的に推進することが定められています。

市では、この計画に基づき、市民一人一人の自覚および努力を促すことによって、安中市域における市民の生命・財産などの被害を軽減することを目指していきます。

※当計画およびパブリックコメント実施結果は、市ホームページから閲覧できます。

※その他詳細につきましては、お問い合わせください。

問合せ▶困安全安心課生活安全係 (☎内線1131)